

2014年4月8日

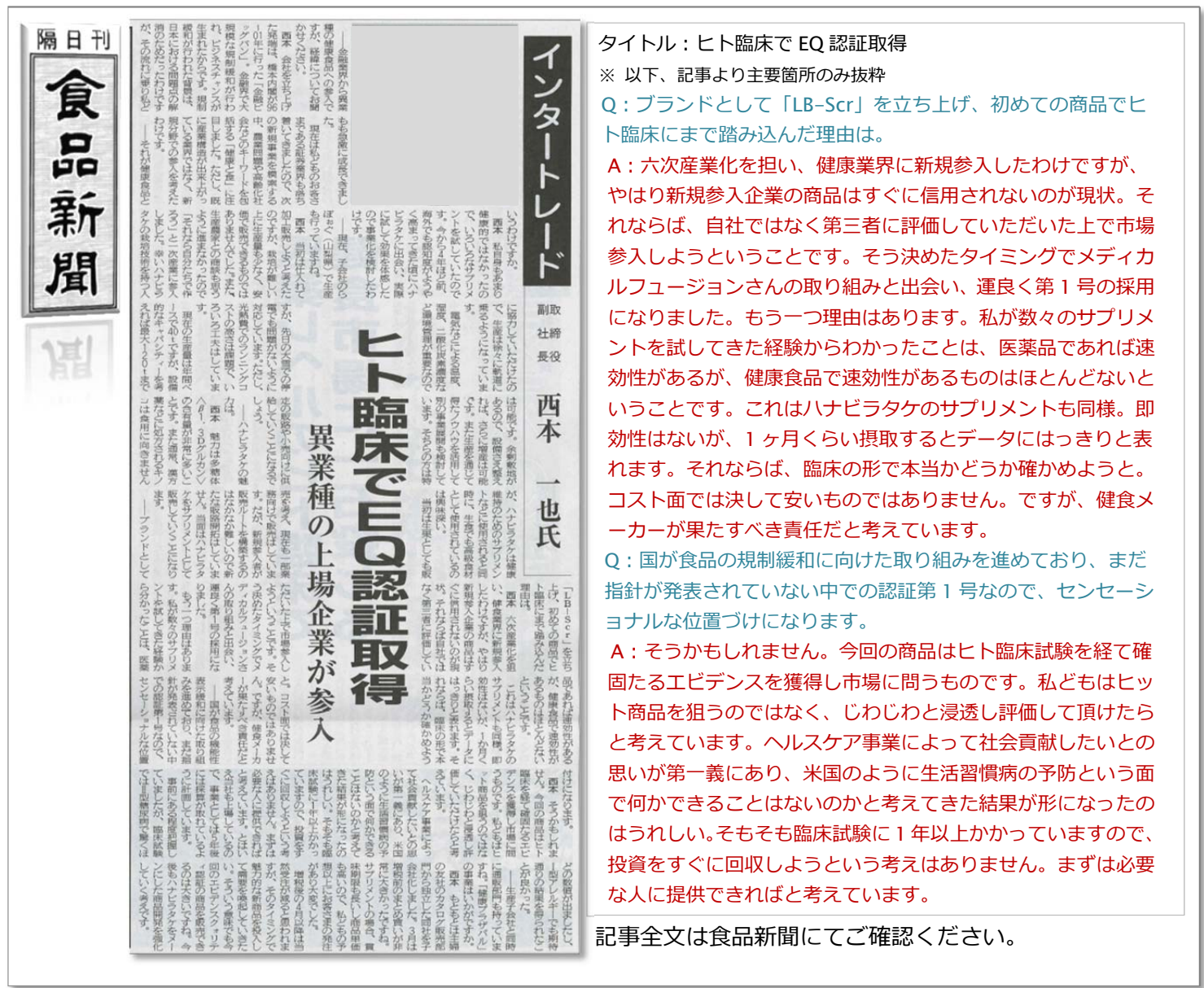
各位

会社名 : 株式会社らぼおぐ
 代表者名 : 代表取締役社長 田中 真弘
 本社所在地 : 山梨県南巨摩郡身延町大野 952-1
 担当者 : 取締役 西本 一也
 電話番号 : 0556-62-3715
 URL : http://laboag.co.jp

「食品新聞（4月7日号）」に当社インタビュー記事が掲載されました。

食品新聞社発行の「食品新聞（4/7号）」にて、先般リリースの当社実施ヒト臨床試験に係る当社取締役（兼、株式会社インタートレード取締役副社長）西本のインタビュー記事が掲載されましたので、本書にてお知らせいたします。

「食品新聞」は、半世紀に渡り発刊されている業界新聞大手で、食品業界に係る動向などをリアルタイムに発信する紙媒体です。



タイトル：ヒト臨床で EQ 認証取得

※ 以下、記事より主要箇所のみ抜粋

Q：ブランドとして「LB-Scr」を立ち上げ、初めての商品でヒト臨床にまで踏み込んだ理由は。

A：六次産業化を担い、健康業界に新規参入したわけですが、やはり新規参入企業の商品はすぐに信用されないのが現状。それならば、自社ではなく第三者に評価していただいた上で市場参入しようということです。そう決めたタイミングでメディカルフュージョンさんの取り組みと出会い、運良く第1号の採用になりました。もう一つ理由はあります。私が数々のサプリメントを試してきた経験からわかったことは、医薬品であれば速効性があるが、健康食品で速効性があるものはほとんどないということです。これはハナヒラタケのサプリメントも同様。即効性はないが、1ヶ月くらい摂取するとデータにはっきりと表れます。それならば、臨床の形で本当かどうか確かめよう。コスト面では決して安いものではありません。ですが、健食メーカーが果たすべき責任だと考えています。

Q：国が食品の規制緩和に向けた取り組みを進めており、まだ指針が発表されていない中での認証第1号なので、センセーショナルな位置づけになります。

A：そうかもしれませんが。今回の商品はヒト臨床試験を経て確固たるエビデンスを獲得し市場に問うものです。私どもはヒット商品を狙うのではなく、じわじわと浸透し評価して頂けたらと考えています。ヘルスケア事業によって社会貢献したいとの思いが第一義にあり、米国のように生活習慣病の予防という面で何かできることはないのかと考えてきた結果が形になったのはうれしい。そもそも臨床試験に1年以上かかっていますので、投資をすぐに回収しようという考えはありません。まずは必要な人に提供できればと考えています。

記事全文は食品新聞にてご確認ください。